

ホームページへの掲載		
7月	31日	掲載

岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 米澤 信雄

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話058-387-4141

1 会の名称 学校評議委員会

2 会の構成 委 員 恩田 秀比良 株式会社オング製作所 専務
木村 眞弓 地域住民代表
小島 健児 育友会会長
杉山 広子 地域住民代表
藤吉 浩一 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長

(委員名は五十音順)

学 校 側 米澤 信雄 校長 森 保 教務主任
林 忠弘 副校長 宮浦 英夫 生徒指導主事
川合 宏海 事務部長 本田 悟志 進路指導主事
高木 喜弘 教頭 加藤 嘉彦 工業部長
若松 卓郎 教頭

3 会の目的 学校運営等について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。

4 会の開催 平成24年 7月6日(金) 13:15~15:30 岐阜工業高等学校 校長室
委員5人と学校側9人が出席

5 会の概要

主テーマ 工業高校に期待するもの、地域から学ぶべきこと

授業の見学

電子科： 3年課題研究

建設工学科 工業基礎

1年8組 地理A授業

化学技術科： 3年課題研究



学校の教育現状について 報告

学校長より 学校評議員は学校の応援団だと思っているので様々なご意見をお願いしたい。本校は8学科9クラス定員1080名で、職員も130名おり大規模校である。生徒は現在1073名が在籍しており、県下でもっとも進路変更（転退学等）の少ない学校でもある。進路状況は35%進学、65%が就職する。今年度はやや就職希望者が増えるようだ。

学習指導要領の改訂に伴い、教育課程の編成を行っている。専門高校ではあるが、より高度な専門を身につけるための可能性は残すように教育課程上で配慮している。地域の産業界の期待に応えられることが一番の目的である。

日本一の工業高校を目指している。資格取得では全国で380名が特別表彰を受けたなかで、本校だけで13名が受賞している。全国で工業高校が600校、約一万人の生徒がいる中でのことなのでかなり価値があることと思われる。資格取得の個人としては一昨年全国1位を獲得し文字通り日本一となっている。

あと85日で国体が開催されるが、5つの部活動の38名が強化指定選手に選ばれている。日本一を目指して頑張っている。

今後の課題としては入試制度の改革が上げられる。入試が一元化され、どのような影響が出るのか検討して行きたい。

今年度はスタート週間というのを設け、入学式のあった1週間の間、新入生に部活動の朝練習を見学させた。いつも複数の部活動が清掃活動をし、朝練習をした後に校歌を斉唱し、校旗を掲揚している。その様子を見せたことは新入生にとっては大きな刺激となり、スペシャリストを目指す、本校の姿勢が早く理解されたと思われる。地域の産業界で活躍できる人材の育成に努めていきたい。



教務部	入試の状況、教育課程の改善点について
生徒指導部	挨拶指導、安全指導について
進路指導部	進路状況について
工業教育部	ものづくり・資格取得状況について
定時制	副校長より 定時制教育活動全般について

工業高校に期待するもの、地域から学ぶべきこと

- ・授業を見学させてもらって、資格取得を目指し、興味を持って有意義にやっていることがよくわかった。
- ・各務原では大きなショッピングセンターがあり、万引き等が多い様だ。本校の生徒は関係ないと思うが、夏休みに向けての指導をお願いしたい。
- ・生徒に基礎的なことをしっかりと教えて欲しい、その上で多くの事に興味を持たせて、専門分野を深めていってほしい。
- ・人前で挨拶ができることが大切である。
- ・電車内の行動、特に制服を着ているときは学校に直接迷惑がかかるので、考えて欲しいものだ。
- ・企業でも学校でも、5Sにかかわる、パトロール、安全点検、品質管理、安全教育が一番大事である。
- ・大学の学生を採用するときにシラバスをチェックするが、シラバスを作ることは大変だと思うが大切なことだ。
- ・工場はどんどん海外に出て行くので、英語ができないと困る。
- ・元気な精神力が必要である。社会は体力勝負、負けても生き残っていく力が大切である。基礎学力と活力を高校で身につければ、知識は会社に入ってからでも身につけられる。
- ・本校卒業の息子が大学に行っているが、英語がついていけないと言っている。基礎学力が中学で停

まっている。

- ・高校でもっと英語教育をやって欲しい。
- ・センター試験対策をやって欲しい。普通校との戦いもあり、事前指導をお願いしたい。
- ・本校卒業の娘がある会社で働いている。パソコンの勉強をやっていたので生かされているが、プログラム関係になるとできないこともあるようだ。
- ・基礎基本をしっかりとやって欲しいと言い、かたや大学進学を目指した高度なこともという、デパートのようになってしまうので、ぶれないようにお願いしたい。
- ・100人が100種の職種につくので、それに細かく対応することは困難だと思う、いろいろなことにチャレンジする精神を育て、自分で学んでいく力を育てることが大切だ。
- ・中学校よりも高校の部活動はしっかりと指導してもらい良かった。大学に入ってから人とのコミュニケーションがしっかりととれるようになっていた。部活での経験が生かされている。
- ・10年前には本校への入学を勧められなかったが、今では大変良い雰囲気になって、周りの人にも勧められる。一人一人の生徒を良く面倒をみてもらえる。
- ・今は地元からの評価も高い。